

製品名: EMR1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10446**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	98kDa

抗原情報

遺伝子名	EMR1
別名	EMR1; TM7LN3; EGF-like module-containing mucin-like hormone receptor-like 1; EGF-like module receptor 1; EMR1 hormone receptor
遺伝子 ID	2015.0
SwissProt ID	Q14246
免疫原	抗血清はヒト EMR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 818-867

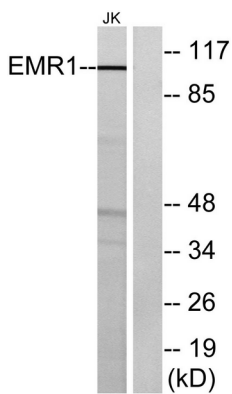
背景

この遺伝子は、C末端に7回膜貫通型Gタンパク質共役ホルモン受容体（7TM受容体）に類似したドメインを有するタンパク質を

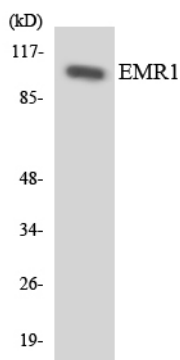
コードしています。コードされているタンパク質の N 末端には、6つの EGF 様モジュールがあり、セリン / スレオニンに富むドメインによって膜貫通セグメントから分離されています。この特徴は、接着特性を持つムチン様単回膜貫通型膜内在性糖タンパク質を想起させます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]、代替製品: コメント = 追加のアイソフォームが存在すると思われる、機能: 細胞間相互作用に関与している可能性がある、類似性: G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属する。LN-TM7 サブファミリー。、類似性: 1 つの GPS ドメインを含む。、類似性: 6 つの EGF 様ドメインを含む。、組織特異性: 広範囲に発現;末梢血単核細胞でレベルが上昇。、

研究分野

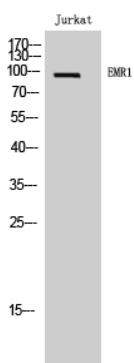
画像データ



EMR1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



EMR1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



EMR1 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

